

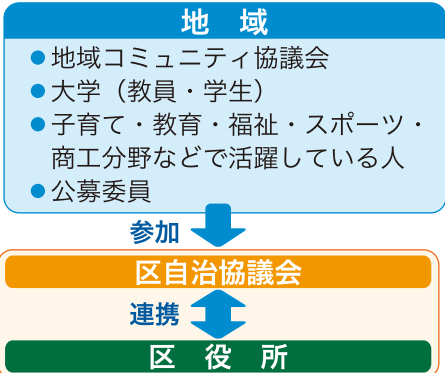
北区自治協議会だより

令和3年3月21日発行 第18号

**第7期目の自治協議会は令和3年3月末で任期満了となります。
2年間の活動の成果などをお伝えします。**

どんな団体ですか？

地域住民と行政とが協働して、まちづくりの課題に取り組むための橋渡しをする、市長の附属機関です。毎月集まり、区民の皆さんのさまざまな意見を取りまとめ、区役所と連携して地域課題の解決にあたるほか、区自治協議会提案事業の企画・実施を行っています。



どんな役割がありますか？

審議会…市や区の施策や区の重要な計画について意見を述べます。

協働の要…地域住民の多様な意見を調整し、地域課題の解決に努めています。また、地域の活性化や課題解決につながる取り組みを提案し、事業として実施しています。

どんな人が委員なの？

- (1) 地域コミュニティ協議会から選出された人
- (2) 公共的団体等から選出された人
- (3) 区長が必要と認めた人 (有識者、公募による人等)

主な取り組み

1 会議の議題・報告 (主なもの)

- 北区「特色ある区づくり予算事業」
- 住民バス・区バス実績
- 北区役所新庁舎整備事業
- 区組織目標の取組結果・目標設定
- コロナ禍における北区自治協議会の課題
- 大雪に関する除雪対応等
- 災害時の避難状況について (区別構想)
- 新潟市都市計画マスタープランの改定
- 北区生活交通改善プラン
- 北区区ビジョンまちづくり計画



北区役所・豊栄地区公民館新庁舎内覧会

2 活動内容の広報

- 「北区自治協議会だより」の発行 (第17号、第18号)
- 北区役所だよりに特集ページ (4回)

3 市長との意見交換会の開催

- 令和元年度はコロナ禍のため中止
- 令和3年3月17日、今後の市の取り組みについて、市長と委員が意見交換を行いました。

4 北区教育ミーティングに参加

教育問題に関して、実情や課題を共有するため、教育委員会が主催する意見交換会に参加しました。

- 保護者・地域・学校の連携について
- 保護者の関わりをより深めた三者連携のあり方

5 北区自治協議会提案事業の実施

- 令和元年度4事業
- 令和2年度3事業 (詳細は裏面に掲載)
- 令和3年度3事業を提案
 - めざせ防災力向上!
 - 「あったか言葉」っていいね
 - 北区 自然の魅力発信

第7期を振り返って



会長 松田正實

令和元年度から自治協議会は、新メンバーの21名を加えて30名の地域代表が、毎月1回の全体会と3つの専門部会で、住みよい北区のまちづくりに向けた話し合いと活動を行って地域課題の解決に取り組んできました。全体会では主に区役所から提案される事業内容に対して協議を行い、3部会では地域の身近な課題を話し合って事業を行ってきました。昨年度の3部会では、ひとり暮らしの高齢者や子どもたちの見守りをテーマにしたフォーラムの開催、乳幼児を育てる環境の改善に向けた冊子づくり、大学生による介護セミナーの実施、北区内の小学6年生を対象に国際的なバイオリン奏者のコンサートの実施などを行って好評でした。

今年度は新型コロナウイルス発生による感染防止の対応から、会議を2度書面開催とし、事業は内容を変更しての実施を余儀なくされました。今後も多様な事態を想定して、安心して暮らせる地域づくりに貢献する自治協議会であることを願っています。

委員研修会

区委員研修会

令和元年10月24日

今までの区づくり予算事業や自治協議会提案事業の実施場所などを視察、現場で地域の方の思いを聞くことで理解を深めました。



令和2年9月24日

区内の山口クリニック院長山口正康医師から「新型コロナから学ぶこと」と題し講演いただきました。医療従事者の方から、現場での具体的な事例をわかりやすくお話しいただき、今後の地域活動に生かせる知見を得ることができました。



8区合同研修会

令和元年度は、北区文化会館で開催されました。各区自治協議会の特徴的な取組みを共有し、区自治協議会に求められる役割に対する理解の促進を図るため、北区のほか、西区、南区、秋葉区の委員から報告がありました。令和2年度はコロナ禍により不開催となりました。

【第8期 自治協議会日程】

詳細は北区役所だよりでお知らせします。

令和3年4月22日 (木)

豊栄地区公民館 大講堂

- 後日、市政情報室及び新潟市ホームページに会議概要等を掲載します。



【自治協議会を傍聴しませんか】

定員5人 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

※会議開始10分前から受け付け。(定員を超えた場合抽選)

- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により会議を中止する場合があります。
- 傍聴の際は、感染拡大防止策にご協力ください。
 - ・入室時の手の消毒及び検温、マスクの着用、咳エチケット
 - ・連絡先の確認 (感染者が出た場合に濃厚接触者を特定するため)

北区自治協議会専門部会

地域づくり部会 所管分野：賑わいづくり、公共交通、防災、地域産業



副部長 澤 玲子

地域づくり部会は提案事業のほか、北区生活交通改善プランや、都市計画マスタープランなどの計画改定の際に意見を求められる部会です。資料や専門用語が多く大変でしたが、少しでも分かりやすくなるよう意見を述べてきました。

令和元年度の提案事業は「みんなで見守り隊」です。北区文化会館で行われ、参加者は185人でした。大きな会場でのイベントで準備が大変でしたが、事前に入念な打ち合わせを行い、当日はスムーズに進んだと思います。委員が所属する食生活改善推進委員協議会北支部との連携も図ることができました。令和2年度の提案事業では「北区公共交通マップ」と「乗り案内チラシ」を作成しました。誰にでも分かりやすいものとなるよう、部会で何度も話し合いました。

委員の任期は1期につき2年ですが、1期だけではよく分からないまま任期が終わることもあるので、できれば続けて2期4年やっていただくとより充実した協議会になると思います。

《北区みんなで見守り隊》

「見守り」をキーワードに特別フォーラムを開催しました。パネルディスカッションでは会場からいただいた質問や感想について、意見交換が行われ、団体同士の交流や情報共有も図られました。



《北区公共交通マップ・区バス・おらってのバス 乗り案内チラシ》

今まで公共交通を利用したことがない区民に、まずは区内にどのような公共交通があるかを知ってもらうため作成しました。



【北区交通マップ】

配布方法 区内全戸配布、市ホームページに掲載、区内の公共施設などに設置（4月1日以降予定）

掲載内容 各路線図、各交通機関の詳細、高齢者向け情報など

【区バス・おらってのバス乗り案内チラシ】

配布方法 各沿線自治会に全戸配布、区内の公共施設に設置

掲載内容 乗り方を4ステップで紹介

福祉教育部会 所管分野：子育て、教育、医療、保健、福祉全般



副部長 梅津 玲子

早いもので福祉教育部会での4年が過ぎようとしています。さまざまな分野で活躍されている方々と共に話し合い、創り出していく喜びを感じることでできるよい時間をいただきました。

「子どもは家庭でしつけられ、学校でできたえられ、地域でみがかれて育つ」と言われています。生を受けた子どもがまず出会うのは親。家庭でのしつけや会話、体験が子どもの成長の土台であることを子育て中の方々に発信。また、思春期にとって大事なことを冊子にまとめました。

「これからの北区を背負って立つ子どもたちを心身ともに健康に育てたい」これが私たちの思いです。支え合い、笑顔いっぱい、応援の輪が北区に広がることを願っています。

《みんなの応援パンフレット

フレフレ！思春期～心の成長期～》



心と体が大きく変化する思春期を迎えた子どもの成長に戸惑ったときの手助けとなる様、大事なことや相談窓口を紹介しています。

配布方法 区内の小学校、中学校を通じて保護者へ配布、区内公共施設に配置

《全てのママ・パパ応援プロジェクト》

ママ・パパの悩みの解決につながるよう子育てにとって大事なことや相談窓口をまとめました。日頃育児を頑張っているママやパパへの応援メッセージ、祖父母や周りの人たちの子育てへの参加の仕方なども掲載しています。

配布方法 こんにちは赤ちゃんの保健師訪問時、保育園・小学校を通じて保護者へ配布、区内公共施設に配置



《大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 大学生による家庭介護セミナー》



3会場で実施 30名参加

新潟医療福祉大学の学生が学習した知識と技能を生かし、家庭介護セミナーを開催。支え合いの機運を高めることができました。この事業は令和2年度に区づくり予算事業（区企画事業）となり、継続して実施されています。

自然文化部会 所管分野：文化・スポーツ・環境など



副部長 本間 久文

北区は、潟や海辺などの自然の宝庫であり、音楽を含めた芸術文化にも恵まれた環境にあります。自然文化部会では、区内の自然環境の保全や整備に関する事業を行うと共に、音楽などの芸術文化活動に関する事業を行っています。

令和元年度は文化事業として、北区文化会館の協力で、区内の小学6年生を対象にコンサートを開催しました。収容人数の関係で2回に分かれての鑑賞でしたが、普段聞く機会がほとんどないクラシックの調べに感動したようでした。また、前期に続いて、福島潟の環境保全にも取り組みました。令和2年度はコロナ禍で、思うように活動できない中、PR動画の撮影を実施し、次期に向けて北区の潟を広報するための足がかりとすることができました。

新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、「SDGs」、「カーボンニュートラル」、「脱炭素社会」といった地球環境に関する言葉をよく聞くようになりました。私たちの住む地球をこれ以上重症化させないために、地球に優しい生活をしていきたいものです。

《子どもと音楽の出会い創出コンサートホールによるこそ

日にち 令和元年9月11日(水)
出演者 大谷康子さん(バイオリン)、小山さゆりさん(ピアノ)
アンケートでは、参加者の約87%が「良かった」「まあまあ良かった」と回答し、「別のコンサートにも行ってみたいと思った」「初めてバイオリンの生演奏を聴いた。すごく楽しかった。」などの感想をいただきました。



《潤いの福島潟創出》

北区の潟の魅力を広く発信し、区民の理解を深めるとともに、福島潟のラムサール条約登録推進に向け、PR活動などを行いました。

潟ツーリズム研修会への参加 2回
啓発パネル巡回展示
パンフレット配布 5会場



《福島潟賑わい創出》

ラムサール条約登録に向けた研修会及び意見交換会を行いました。令和元年度に引き続き、PR活動として豊栄高等学校の生徒と協働で福島潟の魅力PR動画を制作しました。

撮影期間 令和2年9～11月
コンセプト 訪れたいくなる福島潟
公開方法 YouTube内「新潟シティチャンネル」

